

令和4年度
児童生徒の発信力強化のための
英語指導力向上事業

清水町立西小学校
令和4年度取り組み

発表補助資料

良さ	課題
<ul style="list-style-type: none">・見通しや方向性が分かると、進んで取り組む。・自分から考えをもったり、発表したりする子が増えてきた。・話を最後まで聞く子が増えてきた。	<ul style="list-style-type: none">・主体的に学ぶ姿・自らやり遂げる姿・自己肯定感が低い子



研修テーマ

高め合い よりよい自分を求めていく子の育成
～Iを高め, Weを広げる授業づくり～

研修テーマ

高め合い よりよい自分を求めていく子の育成 ～Iを高め, Weを広げる授業づくり～

子供たちの
主体的な姿

子供同士の
対話的な姿

自分の考えをつくる

この前は...

こうすればいいのかな。

思い出す

試しに...

ふむふむ

やってみる

調べる

深い学び

考えを交流・共有する

- ・ 関心をもつ
- ・ 反応する
- ・ 話すー聞く
- ・ 教えるー教わる
- ・ 共感する

2人

小集団

全体

研究仮説

仮説1

教師が、**子供理解と教材研究**を基に、**単元終末**における**子供の姿**を明確にした**単元計画**を立て、事後研修を行い、**付けたい力とその検証**を行うことで、子供たちの**資質・能力向上**につながるだろう。

仮説2

教師が、単元の目標や付けたい力、評価を明確にし、授業づくりを行うことで、子供たちも課題解決に向けて、①**知識を身に付け**、②**それらを用いて思考・判断・表現**をして、③**課題解決ができたかを振り返り**ながら、**主体的に学習に取り組む**ことができるだろう。

事前研修

① ファイナルアクティビティを中心にした指導案検討

単元構想案, 指導案作成

児童の実態

目指す姿

ファイナルアクティビティ



指導案再考

授業研究会

②観察記録や子供の事実から分析する授業研究会

令和4年 7月 4日(月) 5校時
5年1組「My Special Day ~普段知らない、あの子の一面~」授業者 景山

観察児 a

Aの姿	やる事が何となく理解できて、早く活動したいと意欲的なaが、
手立て(8)	ALTとの Demonstration を経て、活動内容をしっかり理解してペアや友達との取り組むことで、 中間評価で生かすと (青)
Aの姿	<u>話を聞き出そうとしたり、自分の話を紹介しようとしたりするなどして、相手をリード</u> やりとりし、積極的に活動に取り組む。

時分	学習の流れ・教師のかかわり	児童のあらわれ
11:00	Hand up Good Afternoon is it? How are you? (5分)	Let's start! Excuse me! Thank you! How are you? How are you? How are you?
11:05	How many many people? How many many people?	How many many people? How many many people? How many many people?
11:10	What is your special day? What is your special day?	What is your special day? What is your special day? What is your special day?
11:15	Please Help me! Please Help me!	Please Help me! Please Help me! Please Help me!
11:20	What is your special day? What is your special day?	What is your special day? What is your special day? What is your special day?

いやだな、やりたくない (赤)

視線 キョロキョロ (赤)

子供たち同士での学び合い!! 聞いている分がっている (青)

全部日本語 (赤)

発信 (赤)

力ある (青)

- 全体, 個人の本時の目標
- 研修テーマとの関わり
- 教師による子供の見取り

青: 良い表れ

赤: 課題

緑: 改善案

各グループ発表
↓
共通する課題等を共有

授業実践① 5年外国語科 「When is your birthday?」

5年3組の実態

良さ	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・英語を聞き取ろうとする ・歌や、反復練習を 楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の外国語への不安 ・表現, コミュニケーション に不安 →ゆっくりなら言える

- ・5年生の外国語科を楽しんでほしい。
- ・お互いに助け合い, 英語表現をしようとする姿を目指したい。

授業実践① 5年外国語科 「When is your birthday?」

ファイナルアクティビティ

「バースデーカレンダーを作ろう・・・話すこと(やり取り)」

身近な「誕生日」
という興味・関心



月日の言い慣れ



英語で言える自信

「I」が高まる

友達の誕生日を
知りたい

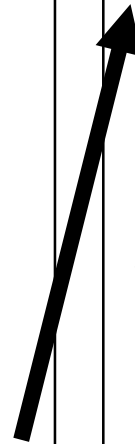


英語での月日の理解



欲しい物は
何かな？

Weが広がる



授業実践① 5年外国語科 「When is your birthday?」

観察見の変容

My birthday is ○○.
あれ・・・言えたのに伝わってない。



ジェスチャーを使うといいよ (8を指で表示)

なるほど!



分かった



なんて言ったのか分からない・・・

子供たちの中にある良さや困っていることを共有

授業実践① 5年外国語科 「When is your birthday?」

Iの高まり, Weの広がり (成果○ 課題▲)

○ 興味関心につながる活動

▲ 支援や手立ての工夫

→ 良い表れや, 困っていることを共有

授業実践② 5年外国語科

「My special day～普段知らない、あの子の一面～」

5年1組の実態

良さ	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を楽しむ ・分からないとき正直に答え、みんなで練習 →全員で上達しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な子が、声を出さずに過ごす ・活動になると言い方が分からず困る

- ・やり取りの楽しさ→意欲的な児童 **増**
- ・友達のことを「知りたい」気持ち
- どう伝えれば(聞けば)いいのかな。

授業実践② 5年外国語科

「My special day～普段知らない、あの子の一面～」

ファイナルアクティビティ

「友達の特別な1日を探ろう・・・話すこと(やり取り)」

単元の見通し～意欲



ゲーム性～言い慣れ, 聞き慣れ



自分で伝えたいことを調べる

「I」が高まる

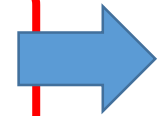
コミュニケーションの
楽しさ



聞き手主導の
コミュニケーション

Weが広がる

良い表れや, 困っていることを共有



中間評価の実施

授業実践② 5年外国語科

「My special day～普段知らない、あの子の一面～」

観察見の変容

①Hello.

②Hello. What your special day?

③My special day is my birthday.

観察見

④Oh,nice!あー
What・・・なんだっけ?

⑤何?何が分からない?

⑥What do you want to be?

⑦I want a chicken.

CIがC2の紙をのぞいて二人で話す

⑧Nice.

あー……

⑨My family.

⑩How many?

⑪Four family.

⑫Me too.

⑬Oh.

⑭OK. Thank you.



授業実践② 5年外国語科

「My special day～普段知らない、あの子の一面～」

中間評価

① どうだった？

何かいいなと思ったことあったかな？

③ 乗り出して聞いていたね。

⑤ 反応大事だよな。

⑦ 相手が分からなかったら、日本語でもう一度言ってあげてもいいよ。

② 分からないときに聞いていた。

④ 一つ一つに反応していた。

⑥ 相手に分かりやすくゆっくり話していた。

目的を明確に

何が良いのか、子供たちの困っていることが何か。教師の聞き方、取り上げる子供

授業実践② 5年外国語科

「My special day～普段知らない、あの子の一面～」

Iの高まり Weの広がり (成果○ 課題▲)

○ 見通し・・・学習に必然性→主体的な学びへ

▲ 習得すべき言語材料の活用

○ 中間評価・・・全体への支援として○

▲ 中間評価を設定するなら

目的を明確に

何が良いのか、子供たちの困っていることが何か。教師の聞き方, 取り上げる子供

授業実践③ 2年生活科 「えいごで あそぼう!!」

2年2組の実態

良さ	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学習を楽しむ ・「もっとやりたい!」 →「次はいつかな?」 ・知らない言葉への興味 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識をもつ子もいる →この言葉は覚えよう →このカードは取ろう

- ・コミュニケーションの幅を広げて欲しい

- ・いきいきと英語表現をしようと
する姿を目指したい。

授業実践③ 2年生活科 「えいごで あそぼう!!」

ファイナルアクティビティ

「自分のカードの絵柄は何かな？」

色, 形, 動物を
少しずつ学ぶ



ゲームを通しての
英語表現とつなげる

「I」を高める

カードは何だろう
「知りたい！」



児童同士の関わり
「身振り, 手振り」
「ジェスチャー, 指示」
なんとか伝えよう

Weを広げる

授業実践③ 2年生活科 「えいごで あそぼう!!」

観察見の変容



①全部当たった

観察見

②他のも聞いてごらん
「No」と言われるかも。



③「Green?」
→もう一度確認

観察見



④他の色を聞いて、
ちがっていたら、印
を付ける子がいたよ。

子供たちの良い表れを共有
観察見もそれを聞くと…。



観察見

授業実践③ 2年生活科 「えいごで あそぼう!!」

観察見の変容



観察見

他も
聞いてみよう。

③「Yellow？」
→ワークシート

④「No.」

次の課題をもって活動に
取り組む

授業実践③ 2年生活科 「えいごで あそぼう!!」

Iの高まり Weの広がり (成果○ 課題▲)

児童をどのように見取っていくのか

○ 支援と中間評価での価値付け

▲児童の気付き→困っていることにつなげたい

○ 他教科と外国語活動をつなげる

まとめ（仮説1） 成果○

教師が、子供理解と教材研究を基に、単元終末における子供の姿を明確にした単元計画を立て、事後研修を行い、付きたい力とその検証を行うことで、子供たちの資質・能力向上につながるだろう。

○付きたい力, 学習の目的・単元構想, 評価

・・・単元のバックワードデザインに不可欠→仮説2と関連

○魅力的, 必要感のある単元構想・・・児童の意欲向上

→仮説2と関連

○事後研修→子供たちの変容, 支援・手立ての協議, 共有

○中間評価・・・良さ, 困っていることを共有◎

まとめ（仮説Ⅰ） 課題▲

教師が、子供理解と教材研究を基に、単元終末における子供の姿を明確にした単元計画を立て、事後研修を行い、付きたい力とその検証を行うことで、子供たちの資質・能力向上につながるだろう。

▲中間評価・・・目的, タイミング

- 共有するだけではなく、全体で解決
- 到達度の確認など、活用の幅

▲観察見の見取り

- ・・・そのために実態を正確に把握
- ・・・そのための手立てを研究

まとめ（仮説2） 成果○

教師が、単元の目標や付けたい力、評価を明確にし、授業づくりを行うことで、子供たちも課題解決に向けて、①知識を身に付け、②それらを用いて思考・判断・表現をして、③課題解決ができたかを振り返りながら、主体的に学習に取り組むことができるだろう。

○評価場面，方法の検討

→指導と評価の一体化に

○児童自身が学びを実感

・・・成果や自信，次の課題を実感

まとめ（仮説2） 課題▲

教師が、単元の目標や付けたい力、評価を明確にし、授業づくりを行うことで、子供たちも課題解決に向けて、①知識を身に付け、②それらを用いて思考・判断・表現をして、③課題解決ができたかを振り返りながら、主体的に学習に取り組むことができるだろう。

▲教師，児童で評価を共有

→ 個人目標の設定と振り返り

→ 自身を客観視できる手立て

▲実践を普段の外国語の授業づくりに生かす。

・・・職員全体で実践，成果や課題を共有

10月24日 公開授業では

6年



未来の友達に，西小校区の
すてきなところを紹介しよう



半年後，同じ学校に通う
新しい仲間

○単元構想・・・同じ学校の友達→隣の学校の友達

→「行ってみたい」と思わせる発表・・・目的を明確に

○個人目標の設定・・・中間評価で到達度合を確認

→できたことや、「もっと○○したい」を全体で共有，解決

10月24日 公開授業では

3年



友達のことを知って、
もっと仲良くなる



○児童の実態, 単元構想

「もっと仲良くなる」ために・・・「相手の好きな物を知る」

→目的をはっきりと定め, 児童と教師で共有

○中間評価・・・どんなことを尋ねたか(尋ねたいか)

→質問, 回答できたことを価値付け

→「○○を聞きたい」を全体で解決・・・再び活動

10月24日 公開授業では

1年



あきを たのしもう
「ハロウィンパーティー」



○児童の実態

→ハロウィンパーティーに向け、様々な活動を行う中で、
友達と関わることの楽しさを味わってほしい。

○単元構想・・・ハロウィンパーティー

→衣装やお菓子の準備、お菓子のやり取りなどを通して
友達とのいろいろな関わりに気付く。

○中間評価, 振り返り・・・「話し手」「聞き手」がどう感じるか

授業内の観察児の姿から、発信力強化について分科会の中で、御意見、御感想をよろしくお願い致します。

今後も、児童のIが高まり、Weが広がっていく外国語の学習を目指して、子供理解、教材研究、指導と評価の一体化を進めていこうと思います。



御清聴
ありがとうございました。